

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト

第 1 回まちづくりフォーラム報告

1 開催状況

- (1) 日 時 平成 30 年 5 月 27 日(日) 13:30~16:00
- (2) 会 場 JA セレサ川崎本店セレサホール飛翔
- (3) 来場者 約 200 名

2 実施概要

1. 開会のあいさつ

小田嶋宮前区長からご挨拶いたしました。

2. 「宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト」の概要

資料に沿って川崎市市民文化局区政推進課からご説明いたしました。

3. 宮前区の現状と検討状況

① 宮前区の現状と再開発に向けた検討状況

資料に沿って川崎市まちづくり局地域整備推進課からご説明いたしました。

② これまでにいただいた意見等の概要

資料に沿って宮前区役所企画課からご説明いたしました。

4. ミライに向けた駅周辺のまちづくりの動向

資料に沿って、株式会社 社会空間研究所から近年のまちづくりの事例をご紹介いたしました。
※株式会社 社会空間研究所は、今回の検討の支援業務として、フォーラムや意見交換会の運営などを市が委託している事業者です。

5. 意見交換

- ・ 当初は「旗上げ方式」で、来場者全員の方に意見を表明していただくとともに、「はい」「いいえ」のそれぞれの回答者からご発言いただくことなどを予定しておりましたが、「自由に発言させてほしい」とのご意見をいただきましたので、挙手による意見表明、質問に応答する方法へと変更いたしました。
- ・ また、「意見交換」の進行についても、「行政職員に進行してもらいたい」とのご意見をいただきましたので、コンサルタントと職員の 2 名で進行いたしました。

いただいた御意見・御質問と応答内容

※当日お越しいただいていない方にも分かりやすいよう一部言葉を改めています。

- (1) (旗上げ方式で使用を予定していた)「意見票」の内容は、準備組合が作った意見がベースのものとなっている。向丘地区の自治会町内会長会議で聞いた意見は全然違う。今の区役所や出張所をどうするのかという意見が圧倒的に多い。今の区役所等をどうするかという話がないまま、どんどん鷺沼にしましょうという意見が出ている。それで移転に賛成・反対というのはおかしいのではないか。

(市民文化局区政推進課)

(本フォーラムを)どのように進めることが良いのか考えながら計画してまいりました。移転の賛成・反対のみの議論ではないと考えていますし、今の区役所についても考えていく必要があります。様々なご意見があると思いますが、一つ一つ整理しながら進めていきたいと考えております。

- (2) 私は、今日初めて詳細な内容を聞いた。既にヒアリングを進めているという説明があったが、情報は開示されているのか。今日までどのような検討をしてきたのか、まずはそれを説明してもらわないといけないのではないか。

(市民文化局区政推進課)

基本的に再開発は民間による取組ですが、これまでに様々な要望や、準備組合からの要請がありました。公共機能に関する内容が主でしたが、内容を整理・検討し、平成30年2月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方について」を公表しました。皆様にどこまでお知らせできているかという問題はあるかもしれませんが、議会に報告し、報道機関にも情報提供をさせていただいたところです。

その後、普段区役所をご利用いただいている町会や市民活動団体に、現状とどのような検討を行うかについて説明・ヒアリングを行い、まとめたものを本日の資料としてお配りいたしました。本日の資料も今週まで作業をしていたため、今後ホームページで公表していく予定です。その他、本日のフォーラムや意見交換会、今後の検討のことは5月1日号の市政だよりでお知らせしたところです。

- (3) 区役所が移転するといふことばかりあるという説明があったが、誘導ではないか。これから市民の意見を聞いていくのではないのか。移転するということが決まってから事例を紹介されるなら分かるが、決まっていない段階で紹介される意味が分からない。

また、32階建てのビルが建つといったことや交通渋滞のこと等デメリットの説明がないのはどうということか。また、司会は市の職員が行うべきではないか、交代してほしい。

(株式会社社会空間研究所)

事例紹介はいいことがありますよということを伝えたかったわけではなく、これからのまちづくりを考える一助になればという趣旨で紹介させていただきましたが、不快な思いをされたならば大変申し訳ございません。

司会の交代については、市役所職員との2名で進行することでお許しいただきたいと思
います。

- (4) 旗上げについて、ピンクと青で賛成反対を聞くということだが、この場にもし一方が動員
をかけていたらどうするのか。賛成派が半数以上いたら移転が決まってしまうのか。

(市民文化局区政推進課)

旗上げについては、鷺沼駅周辺への移転に賛成か反対かという質問はありません。旗
上げは、自由に発言していただく手法では、最後まで発言をされない、できない方が出
てしまう可能性があるため、なるべく来ていただいた方全員に参加していただきたい、今日お
越しの方がどういうお考えを持っているのかをお聞きしたいという趣旨で準備をしておりまし
た。その後でご質問がある方にご発言をいただくという予定でした。今日のフォーラムで何
かが決まるということはありません。

- (5) 意見票は最後に回収するとのことなので、後日集計してオープンにしていれば
良いと思う。この場で共有することの意味はあまり感じない。今日この場を有意義にした
いと思っている人が多くいると思う。今日の資料は新しい情報もあり個人的にはよかった
と思うが、来ている人の中には資料にはない部分で疑問を持っている方などもあると思う。
今日答えられないこともあると思うが、来ている人の疑問を集める場にしてはどうか。

(株式会社社会空間研究所)

旗上げについては、本日は行わないこととし、自由に御意見・御質問をしていただくこと
といたします。

- (6) 鷺沼の再開発自体結構な話だと思うが、問題は区役所・市民館・図書館移転の話。
21世紀の先進国とは思えない暴論。15年前に都内から引っ越してきたが、区役所の
存在前提で不動産を購入した。移転して更地になって地価下落、資産価値下落した場
合に補償してもらえるのか。財産権の侵害としか思えない。跡地に素敵な施設が出来る
から資産価値は下落しませんという話があるならいいが。要は区役所近辺の住民に犠
牲になれという話に聞こえる。区役所のアクセスが悪いというならシャトルバスを通せばよ
いだけの話。鷺沼に移転するという多額の税金を投入するより安上がりである。市民館・
図書館は複数あって困るものではない。鷺沼にもう一つ作ればよい。先ほどの事例でも
大和市は図書館を2つ作っていた(※)。また、警察署と消防署はどうなるのか。

※フォーラムでは最近の駅周辺のまちづくりに関する事例を紹介しました。配布資料「事
例から見たまちづくりと駅」をご参照ください。

(市民文化局区政推進課)

アクセスの話がございましたが、区役所へのアクセスが急坂だから移転をするというもの
ではございません。シャトルバスという解決手法についても検討が必要だと思います。今回
の検討の発端は鷺沼駅の再開発があり、民間の力を活かしてよりよいまちづくりができない
かということがスタート地点です。その選択肢として区役所・市民館・図書館の移転可能

性を挙げて検討するということであり、現時点で決定していることはございません。

現区役所用地の話についても移転をするかどうかを検討している段階なので、現時点では具体的な検討はできておりません。移転するという場合には当然表裏一体なので、検討することになります。

- (7) 横浜市や武蔵小杉のように再開発を早く進めてほしい。中原区ではあと1万人増やすと言っているが本当か。NHKの番組で、中原区にタワーマンションを建て、新たに保育園小学校中学校を建設すると言っていた。宮前区にそのような機運はないのか。

(まちづくり局地域整備推進課)

市では、中原区で具体的に1万人増やしましょうという内容を決めたり発信したりはしておりません。宮前区においては、昨年8月に鷺沼駅前の再開発準備組合が出来て、再開発の機運が高まってきているところです。

- (8) 議論をする前に、宮前区役所図書館市民館を移転しなければならないという理由が分からない。移転しなければならないということであれば元々現在の区役所の立地計画に誤りがあったということか。

(市民文化局区政推進課)

移転させる必要性については、現在の区役所に様々な課題はありますが、移転させなければならないという必要性まではございません。しかし、鷺沼駅周辺の再開発という機会にどのようなまちづくりをすることが宮前区にとってよいのかという視点で検討しております。移転しなければならないということではございません。

現在の区役所が出来た当時とは状況が変わっていることもございます。現在の区役所は、宮前区のほぼ中心にあります。当時は地下鉄の計画やモノレールの計画がありました。バスだけではないアクセス方法がいくつも用意される予定でした。計画の誤りということではなく、状況が変わったということだと認識しています。

- (9) 意見票にも書いたが、皆にも知ってもらいたいので述べさせていただく。鷺沼の駅周辺への移転ありきで始まっているが、現区役所の宮前平駅からのアクセスは直線距離でいうと駅前にあるといっても過言ではない距離。坂が急なので課題があるということだが、分区前から住んでいるが、区役所を作る際には、坂を緩くするという話があった。そこからマンションができて今からできるかわからないが、切通しのようにすれば通いやすい役所ができると思う。その辺りも検討してほしい。世田谷区の等々力には役所の分室がある。そこはいったん仮庁舎に移転して、同所で建替えをしているという例もある。宮前区もそのように実施することができるのではないか。

(市民文化局区政推進課)

回答不要とのことでしたので、御意見として承りました。

- (10) 区役所の移転については、老朽化と耐震化が問題になっていて、区役所の建替えする

順番の2番目の候補に上がっていたと思う。川崎区役所の後に宮前区役所という案が2年くらい前に出ていたと思う。

以前、区民活動に参加していた頃、バリアフリー促進委員会があり、そこで建物の構造的な問題がたくさんあるということがわかった。市民館と区役所を結ぶ動線は2階のみである。イベント時に雨が降ったときなどは行き来が非常に難しいことや市民館の入口が2階にしかないので、来られた方は階段を上らなければならない。そうした課題がたくさんある中で今回の鷺沼の話が浮上したのだと思う。そういったことも区民の皆様には理解していただきたい。

出張所の機能がなくなってしまった。有馬のアリーノなど公的な施設はある。それらを行政サービスコーナー的な機能に見直されたらよいと思う。

(市民文化局区政推進課)

川崎市では資産マネジメントカルテを定めており、建物は60年以上使うこととしております。多摩区の生田出張所は築42年でしたが、地形的な課題などもあり、老朽化が激しく建替えをすることとなりました。そうした特殊な事情がある場合、建替えが早まることはございます。宮前区役所は耐震化工事も行っており、今すぐ建替えをしなければならないという状況ではございません。ただし、利用するに当たって御不便をお掛けしている点については御指摘の通りだと認識しております。

- (11) 今日のフォーラムは、子育て世代の方にも聞いてほしかった。できれば大人の意見だけでなく、子どもの意見も聞いてほしい。子どもたちがずっと宮前区に住み続けるかは分からないが、住み続ける人もいると思う。子どもたちが自分たちの街をどうしたいかということを知りたいか。将来に不安を抱いている子どもが多い。自分たちの住んでいる街をどうしたいか考えていくチャンスである。父母祖父祖母が何に苦労しているかなど生活の中で感じ取ってること、そうした部分から考える機会を与えてほしい。

(市民文化局区政推進課)

ミライを考えるプロジェクトとして大切な御指摘であると考えますので、今後検討してまいります。

- (12) 私は目が見えず、駅の傍に役所機能があれば便利になるとは思っている。この話の発端は鷺沼駅前のバスターミナルを広げるところから始まり、鷺沼駅前に各区のバスが来るバスセンターのようなものができるということがあったので、それならば役所機能があった方がより便利だろうという市議会からの要望があり、市長がなんとかしますという答弁をしている。バス路線がどのようになるかということ、バス路線が通っていない地域の方にきちんと説明しないと反対する方も増えてしまうのではないかと。

(市民文化局区政推進課)

バス路線がどうなるか、具体的な話がないと考えられないという点については、御指摘のとおりだと思います。公共施設が鷺沼駅周辺にできるのであれば、全体のバス路線を再構築していくことも考えられると思います。公共施設ができないならば、できない中で路線

の検討をしていく必要がございます。交通局では4月に考え方を公表しているものがあり、鷺沼駅周辺の再開発に合わせて公共施設、聖マリアンナ医科大学病院等へのアクセス向上については検討していきます、として具体的な取組として先駆けて進めようとしているところがございます。

- (13) 東急だけで再開発した場合は何階建てが建つのか、市民館が入る場合は何階建てになるのか。高さ制限はないのか。

(市民文化局区政推進課)

鷺沼駅前の地域は商業地域となっており、容積率500%まで建ててよいということが法律上許されております。市民館が入らなくても高い建物は建てられる地域となっております。

(まちづくり局地域整備推進課)

具体的に何階建てになるかということは決まっておりませんが、敷地に対してどれだけの面積を使って建てていくかによって高さは変わってまいります。商業地域では、高さ制限はございません。

- (14) 総合設計制度は利用されないのか。

(まちづくり局地域整備推進課)

具体的な建築計画はまだ決まっておりません。現時点では様々な手法が取りうる状況にはございますが、総合設計制度の利用や容積率を上げるかなどについては、決定していることはなく、今後検討していくこととなります。

- (15) 財務状況についてだが、川崎市は全国の政令市の中でも良いほうだとわかるが、今後高齢化が早くなっていくので、お金をどんどん使ってよいのかという心配がある。できるだけ、耐震改修で済むのであれば改修して長く使って欲しい。鷺沼駅の近くに住んでいるが、個人的には、区役所には年1回や数年に1回なので、別に来てほしくないというか、毎日利用するような施設が入ってくれた方がうれしい。区役所が来るのであればサテライトで十分だと考えている。

(市民文化局区政推進課)

財政状況については、政令市の中ではよい方ですが、それでも厳しい状況であることは間違いございません。医療費を含め固定費の部分は増える傾向にあり、無用にお金を使うことは考えておりません。今後建物の基礎調査を行う予定ですが、移転する場合と、現在の区役所・市民館・図書館を補修しながら使い続けて、現地で建替えを考える場合との費用比較をしていく予定です。短期間に掛かる経費だけでなく長期的な視点での検討を進めてまいります。

- (16) 今日話を聞いて、民間事業者主体の再開発事業の中で公共機能をどうするかという限られたテーマなのかもしれないが、事例紹介ではモノ消費からコト消費へのような、ショ

ツピングセンターではなく公共施設の方が良いという内容だった。計画全体の話も出ていて、やや焦点が呆けているように感じた。民間が再開発を行う中で、公共機能をどうするかということをはっきりさせないと議論が拡散してしまうのではないかという気がする。

その中で2点お願いをしたいのが、今日話を聞いていると発想が20世紀的な気がする。施設と機能が一緒に議論されている。例えば、図書館の機能をもってくるということと図書館という施設をもってくることは同じではない。行政サービスにしてもITなどを使えば小さな窓口でも様々なことができるはずだし、マイナンバー制度などを活用して手続を簡単にしていこうという流れの中でどれだけの施設をもってくる必要があるのかということは考えていただく必要がある。そういう意味では本日の説明の中にITという言葉が出てこないことに非常に驚いた。30年後を見据えたまちづくりという話があったが、是非その辺りも考えてほしい。たまプラーザのようなまちづくりを目指すということでもなく宮前区らしいまちづくりを行ってほしい。更にいうと先端技術を活かしたどこにもないようなまちづくりという発想があっても良いと思う。そういう意味では先ほどご発言された方がいたが、子どもたちに鷺沼駅がどうなって欲しいかという素朴な声を聞いてもらってできるだけ反映させていくようなことができたらずばらしいと思う。地元の鷺沼小学校や土橋小学校、あるいは中学校などの生徒の声を聞いてもらいたい。

もう一つは、現在の区役所周辺に住んでいる方のご心配は非常によくわかる。民間主体の開発なので、検討期間が限られている中ではあるが、地域の声を徹底的に聞くという姿勢を出していかないとみんなが納得できないのだと思う。今回が1回目のフォーラムで2回目が11月という予定になっているが、要望があればいくらでも意見は聞きますよという姿勢を行政には是非示していただきたい。そうでないとなかなか前に進まないのではないか。

(市民文化局区政推進課)

御指摘いただきましたとおり、様々な御意見をお聞きしながら進めてまいります。また、今後の検討においては、施設と機能は別であると認識しておりますので、利用する方が何をしたいかという観点から機能について整理していきたいと考えております。

(17) 先ほど質問のあった総合設計制度等を活用すれば、容積率500%なのかももう少し大きくなるのではないかという質問で、公共施設が入る入らないということは関係がないという答えだったが、その点については誤った情報を皆さんにお伝えすることになるのではないか。たしか公共施設やエコに関する建物ができれば容積率の緩和が1.6倍まで可能だというまちづくりの指針があると思うので正確にご説明をお願いしたい。

(まちづくり局地域整備推進課)

低炭素ガイドライン(低炭素都市づくり・都市の成長への誘導ガイドライン)という川崎市で設けているガイドラインがあり、活用すれば容積率を上げることができますが、今の段階では公共施設を評価して容積率を上げるという具体的な議論は進んでいない状況でございます。

- (18) 限られた時間、1年という期間、それが問題である。1年で区役所の移転を決めてほしいと誰が言ったのか。東急が1年で決めてほしいと言ったのではないか。私たちは関係ない。もっとじっくり考えてほしい。

(市民文化局区政推進課)

期限を設けず議論ができる状況ではございませんが、検討の発端はすぐに建替えなければならぬということでもございません。鷺沼駅周辺の再開発というスケジュールの中での今回の検討です。きちんと皆様の声を聞いて検討する必要があるということで再開発準備組合と調整して今回のスケジュールになっております。民間の再開発事業に合わせて、公共機能をどうすることがよいかを考えていくものなので、再開発準備組合が計画されている再開発事業なしには検討できないものです。行政側の検討が間に合わない場合に、公共機能なしの計画を進めていくのはわかりませんが、平成31年度に都市計画決定し、平成33年度に工事着手という予定は明らかにされているので、その中で検討できるように最大限努力してまいります。

- (19) 最初にこの計画を知ったときはびっくりした。区役所が移転するなどの大きな話になるとは思っていなかった。今日はいろいろ考えながら、便利になれば暮らしやすい街になればいいと思っているが、東急の話になったので一言言っておきたい。図面では、タクシー乗り場やバス乗り場という公共交通広場が、店舗が入るため駅前から少し遠くなるようである。母が高齢なので、改札を出てすぐにタクシー乗り場がある現状に助かっている。これが遠くなると不便になる。交通広場は誰もが使いやすいように駅のすぐ近くにあって欲しい。

(市民文化局区政推進課)

回答不要とのことでしたので、御意見として承りました。

- (20) 11月のフォーラムと4回の意見交換会で出た意見をどのようにまとめて、どのように結論を出すのか。検討期間が1年間で来年の3月頃には結論を出さなければならない。誰が、どのように結論を出すのか。予定しているものだけで足りるのか。50人の意見交換会と2,000人のアンケートを行うとのことだが、それだけで足りるのか。移転しないという選択肢の意見整理は想定していないのか。やはり移転ありきなのではないか。

(市民文化局区政推進課)

意見交換会の中では、鷺沼駅前にどのような公共機能が望まれるかを話し合う予定です。区役所・市民館・図書館の3施設が移転するということは決まっているわけではないので、必要な機能と必要ではない機能という話し合いはできると考えております。50名の方で4回話し合いを行っていくことで、理解や意見を深めることを期待しているところです。現在予定しているフォーラムや意見交換会だけで足りるのかという点については、ご要望をいただいて追加で開催する可能性はあると考えております。

- (21) 細かい部分は意見交換会で話し合いをしていければよいと思うが、その前に2点お願いがある。

1つ目は、今日のフォーラムのように市民参加で進めてほしい。市民参加で進める計画だけでなく、建設の途中やできあがった公共施設の運営に関しても市民が検証する機会を設けてほしい。

2つ目は、20年ほど前に、3年掛けて都市計画マスタープランの宮前区構想という宮前区のビジョンを作った。宮前区をどのような街にしたいかという点で、「ガーデン区」というビジョンを、防災・福祉・市民参加・コミュニティ・水と緑・交通利便性・適正な土地利用という7つの分野に分けて検討した。それらを示していただきたい。それを出発点にして、状況変化に伴って追加することはないかを聞いて欲しい。ダイバーシティ(多様性)や子育て世代の意見など。これまでの取組を共有した上で、議論を進めていただきたい。

(市民文化局区政推進課)

回答不要とのことでしたので、御意見として承りました。

(22) フォーラムの進め方について、当初予定していたとおりには進められなかった。リーダーシップを持って議論を進めていける人をお願いをしたい。市役所の方で前に出ている若い方はとても良かったと思う。社会空間研究所の方の進め方について再考していただきたい。

(市民文化局区政推進課)

擁護するわけではございませんが、御協力いただいている社会空間研究所は、先ほどご意見のあった「ガーデン区」の構想を作ったときから、宮前区に関わっている事業者です。我々も頼りにしている部分もございますが、役割分担や進め方については、今日の経験も踏まえて検討してまいります

6. 閉会のあいさつ

阿部市民文化局コミュニティ推進部長からご挨拶し、閉会いたしました。

